

2027 国際園芸博覧会の PR 協力者募集！ ～推進ロゴマークを活用した PR を実施します～

2027 年に横浜で開催する「国際園芸博覧会」を、「推進ロゴマーク」を活用して一緒に盛り上げていただく協力者を募集します。

PRしていただいた内容は、ウェブサイトや印刷物等広報媒体でご紹介します。
ぜひ 2027 年の国際園芸博覧会の PR にご協力をお願いします。

【募集概要】

- 1 対象者：推進ロゴマークを活用して国際園芸博覧会の PR に協力していただける企業・団体等（個人は除きます）
- 2 募集開始日：令和3年2月17日（水）
- 3 推進ロゴマークの活用例
 - ・ 名刺やポスターへの掲載
 - ・ 商品パッケージへの使用
 - ・ シンポジウムなどのイベントでの使用 等
- 4 申請方法：記入した所定の申請書と添付書類を「5 申請先」にご提出ください。事業開始日の原則3週間前までに、承認を受ける必要があります。使用申請を行い、承認を受けると、推進ロゴマークの使用が可能となります。推進ロゴマークの使用に関する要領・申請書、ガイドラインは以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/logopr.html>
- 5 申請先：横浜市都市整備局 国際園芸博覧会推進課
【電子メールでの送付】tb-engei-intl@city.yokohama.jp
【郵送での送付】〒231-0005 横浜市中区本町4丁目43番地 A-PLACE 馬車道4階
- 6 応募者の受けるメリット
 - (1) 推進ロゴマークの無料使用
 - (2) 2027 国際園芸博覧会推進委員会ウェブサイト等広報媒体での紹介

2027 横浜 国際園芸博覧会推進ロゴマーク



国際園芸博覧会の国内外への PR と機運醸成を進め、愛着心や誇りを高めるための推進ロゴマークです。博覧会協会（仮称）による公式ロゴマークが作成されるまでの間、活用していきます。

<推進ロゴマークに込められた意味>

2027 年、横浜で開催する国際園芸博覧会に、花・緑・農をはじめとした世界の自然、人、文化が集まる様を、花をモチーフに表現しています。花卉は、博覧会で生まれる多様な交流と、そこから「幸せな明日」を創造していく生命力を、葉は、自然との共生を象徴し、茎は、開催地横浜の“Y”を表しています。

◆国際園芸博覧会の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/top.html>

（裏面あり）

【参考1】国際園芸博覧会について

◆横浜における国際園芸博覧会の概要

開催場所：横浜市 旭区・瀬谷区 旧上瀬谷通信施設

開催期間：2027年3月～2027年9月

会場規模：80～100haを想定

メインテーマ：幸せを創る明日の風景

Scenery of The Future for Happiness

開催意義：Society5.0の推進、グリーンインフラの実装、花き園芸文化の振興等を通じた農業・農村の活性化、観光立国や地方創生の推進を通じ、SDGsの実現による日本モデルの提示を目指します。

経済波及効果：約9,440～9,700億円（令和2年2月28日 国際園芸博覧会検討会報告書より）



◆旧上瀬谷通信施設の概要

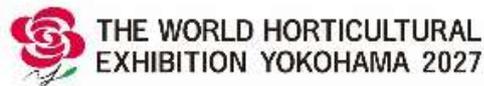
- ・旧上瀬谷通信施設は、2015年6月に返還された米軍施設の跡地です。
- ・面積は約242haであり、首都圏でも貴重な広大な土地です。
- ・東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接しており、広域で交通利便性が高い地区です。
- ・地区内は横浜市内でも有数のまとまった農地があり、周辺には市民の森があるなど豊かな緑が広がっています。

【参考2】2027国際園芸博覧会推進委員会について

行政機関、経済界、各種団体等の協力により、2027年の横浜における国際園芸博覧会の開催組織（博覧会協会（仮称））の設立準備等を行うとともに、全国的な機運醸成等を図ることを目的とする組織です。

【参考3】推進ロゴマークのパターン

日本語2種、英語2種があります。ガイドラインの通り、文字も含めてご使用ください。その他の詳細は、ガイドラインをご覧ください。



お問合せ先

都市整備局国際園芸博覧会推進課 担当課長 後藤 勝 Tel 045-225-8928